

患者さんへ

研究課題名	多施設共同研究による青森県内で発生した施設外分娩の要因と母児の合併症評価の探索
研究機関	研究責任者：弘前総合医療センター 産婦人科 横山美奈子 協同研究機関：青森県立中央病院、青森市民病院、健生病院、つがる総合病院、八戸市立市民病院、八戸赤十字病院、弘前大学医学部附属病院、三沢市立三沢病院、むつ総合病院
研究目的	日本では周産期医療体制の整備により施設分娩が一般的となっている一方、人口減少や分娩施設の集約化、地域偏在などにより、受診や搬送の遅れが生じ得る状況にあります。また、施設外分娩は発生頻度が高くないため、単施設での経験にとどまりやすく、実態や課題が十分に可視化されていません。 青森県は広域であり、特に冬季には積雪や路面状況など地理・気象条件の影響を受けやすく、搬送時間の延長や救急資源の制約が母児の転帰に関与する可能性があり、県内の総合病院に集約される症例を横断的に収集・解析することで、地域特性を踏まえたリスク構造と医療提供体制上の課題（受診行動、救急隊との連携、初期保温・蘇生対応、適切な搬送先選定等）を具体化し、母児の安全確保および周産期救急体制の改善に資する実証的根拠を提示することを目指します。
研究の意義	青森県内の分娩取扱施設に搬入・収容された「施設外分娩（自宅・路上・救急車内等の医療機関外で出生した母児）」症例について、発生要因および予後関連因子を明らかにします。
対象者	2015年1月1日から2025年12月31日に青森県内で施設外分娩となり、当院当科に搬入・収容された妊婦
研究方法 (使用情報)	診療録から以下の情報を使用します ①患者基本情報：身長、非妊娠時体重、分娩時体重、非妊娠時BMI、分娩時BMI ②既往歴等：既往歴、妊娠分娩歴、内服歴、社会歴 ③分娩に関する情報：分娩場所、分娩週数、施設外分娩に至った理由、分娩時の出血量、バイタルサイン（血圧、心拍数、意識レベル）、血液検査所見 ④病院搬送に関する情報：搬送手段、分娩から病院到着までの時間経過、搬送中の治療内容 ⑤周産期における合併症およびその治療の有無 ⑥児に関する情報：出生時体重、Apgar score、合併症、病院到着後の治療内容、出生1か月の合併症の有無
個人情報の保護	氏名、住所など、個人を特定できる情報は削除します。研究結果は学会発表及び論文掲載で公表されますが、その内容から対象者個人が特定されることはありません。本研究は、複数の施設のデータを合わせて解析するため、弘前総合医療センターへ当院で得られた情報を提供します。
問合せ先	本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても診療の上で不利益な扱いをうけることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済みの場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますのでご了承ください。 お問い合わせ先：三沢市立三沢病院 産婦人科 当院研究責任者：丸山英俊 Tel：0176-53-2161（代表）